



# 沼津西ロータリークラブ週報



地域を育み、大陸をつなぐ

2010～2011 年度  
第 20 巻 24 号  
2011 年 1 月 6 日

## ●クラブテーマ●

クラブ奉仕を通じて地域への貢献を

## ■■ 本日のプログラム ■■

■ぎんなん 新年会 クラブ管理運営委員会

例会場：ブケ東海 例会日：毎週木曜日  
(18:30点鐘) 第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX 055-967-2152  
事務担当者●川口恵美  
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

## ◆◆第 930 例会 会長挨拶◆◆

久松 但 会長

あけましておめでとうございます。昨年はクラブの活動にご協力ありがとうございました。今年もよろしくお祈りいたします。

さて、4日の東京金融市場は、株高・円安で幕を開け、明るいスタートとなりました。今年卯年ということで、株式市場では干支の「はねる」にちなんで躍進する年にとの期待が高まっているようです。

今年の株式相場については、市場では、年後半にかけて円安が進み、株価も上昇していくとする楽観論が多いようです。これは、日本銀行や米連邦準備制度理事会（FBR）が事実上のゼロ金利政策をとっているため、多くのお金が株式市場に流入すると見ているようです。

日興コーディアル証券が、日経平均株価の年初と年末の比較を1950年以降の各年について、十二支ごとに調べたところ、5回あった卯年は4回上昇1回の下落だったそうです。平均騰落率が最も上昇しているのは辰年で、次いで子年、3番目が卯年だったようです。ただ、卯年の次の辰年が最も上昇しているため、証券業界では卯年で上昇気流に乗り、「辰が天井」とも言われるそうです。

ところで、平成23年1月1日現在における卯年生まれの人口は1,008万人で、総人口に占める割合は7.9%となっています。総人口を十二支別にみると、丑年生まれが1,168万人で最も多く、次いで子年、寅年と続いて、卯年生まれは10番目となっています。卯年生まれの人には、明るくおおらかで、人情深くまめな性格で、人から好かれる福運があり、温厚な性格で争いごとを嫌うようですが、一方で、決断力に欠ける一面もあり、特に女性には異性関係に注意が必要だそうです。

今年が会員の皆様にとって、良い年になるよう祈念致しまして挨拶とさせていただきます。

## 1月のプログラム

931回	12:30	ブケ東海	年男の抱負
1月13日(木)		芹澤貞治君	理事会⑦
932回	18:30	ブケ東海	クラブ協議会
1月20日(木)			(上期活動報告)
933回	12:30	ブケ東海	インターアクトクラブ
1月27日(木)		指導者講習会報告	植松 正 IAC 委員長

## クラブ管理運営委員会報告

### ★出席報告（会員総数 20 名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
930回	20名	13名	-	65.00%
928回	22名	17名	0	77.27%

### ●欠席者（7名）

本村文一、名古屋輔、成田みちよ、大村保二、芹澤和子、鈴木良則、杉山壽章

### ●他クラブへの出席者

名古屋輔 (1/5 Eclub one)

会 長	久松 但	幹 事	重光 純
広報委員長	本村文一	編 集 者	尾島康夫

## 新年会

### ぎんなんにて新年例会

## ●スマイル報告

1. 久松 但：本年も、よろしく申し上げます。
2. 重光 純：新年、あけまして、おめでとうございます。今年も、よろしく申し上げます。
3. 芹澤貞治：新しい年を無事迎える事が出来ました。本年も、宜しく申し上げます。
4. 宮島賢次：あけましておめでとうございます。本年後半は、大変お世話になりそうです。宜しくお願い申し上げます。
5. 井上武雄：おめでとうございます。
6. 栗原侑男：おめでとうございます。今年も、宜しくお願い致します。
7. 尾島康夫：おめでとうございます。今年も、よろしく申し上げます。
8. 杉山真一：明けまして、おめでとうございます。今年も、よろしく申し上げます。
9. 鈴木泰次：本年も、よろしく申し上げます。
10. 鈴木博行：新年、明けまして、おめでとうございます。
11. 植松 正：明けまして、おめでとうございます。
12. 渡邊亀一：あけまして、おめでとう御座います。
13. A・Dテーブル：テーブル会残金です。

沼津駅南口の”ぎんなん”にて新年例会が行われました。新年例会の後、杉山真一君の司会のもと鈴木博行君の開会の挨拶、栗原侑男君の乾杯の音頭で新年会が行われました。欠席者が多く参加者は少な目でしたがアトラクションで鈴木博行君の得意の手品の披露もあり、会は盛り上がりました。



新年例会



鈴木博行君の開会挨拶



栗原侑男君の乾杯の音頭

## 幹事報告

### 1. 他クラブの例会変更等

- ①沼津北ロータリークラブ  
1月25日(火) 例会時間変更夜間例会(新年会)
- ②新富士ロータリークラブ  
1月18日(火) 特別休会

### 2. 報告・連絡事項

- ①1月20日(木)の上期活動報告の原稿を、本日中に幹事又は事務局にご提出下さい。



# 沼津西ロータリークラブ週報



地域を育み、大陸をつなぐ

2010～2011 年度  
第 20 巻 25 号  
2011 年 1 月 13 日

● クラブテーマ ●  
クラブ奉仕を通じて地域への貢献を

■■ 本日のプログラム ■■  
年男の抱負 芹澤貞治君

例会場：ブケ東海 例会日：毎週木曜日  
(18:30点鐘) 第三木曜日：18:30  
事務局●TEL&FAX 055-967-2152  
事務担当者●川口恵美  
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 931 例会 会長挨拶◆◆

久松 但 会長

日本経済新聞の朝刊 1 面に「3 度目の奇跡」という特集記事があります。3 度目とは、明治維新の急成長・第二次世界大戦後の高度成長に次いで、3 度目の奇跡があるか、というものです。

11 日この中で沼津のアーケード名店街のまちづくりの話が紹介されました。内容は、「各地に広がるシャッター商店街が今や衰退日本を象徴する風景であるものの、約 60 年前に全国で初めてアーケードの名をつけた静岡県沼津市の「名店街」には不思議と空き店舗がほとんどない。それは、地権者だけで設立した会社が商店街全体のテナントを手配するという、いわゆる所有と経営を分離して街全体の価値を引き上げている」というものでした。

地方都市の街造りに関しては、ドイツやオーストリアの例があります。ヨーロッパでも、車を中心とした生活が進んだ結果、郊外に大型店舗が建設されて都市部の空洞化が進み、中心部は人も店舗も減少する一方でした。そこで、街の中心部を通る幹線道路をトンネル化するとともに、地下駐車場を造り、街の中心部への車の乗り入れを禁止し、路面電車などの公共交通機関を整備するというものです。このため、ヨーロッパでは、各地で路面電車が復活しているそうです。ヨーロッパの多くの都市には、広場というものがあり、毎週のように市が立ち、四季折々のイベントが開催されています。そこは、地域住民の交流の場であるとともに、観光客と地域の触れ合いの場としての役割を果たしているようです。

最近、沼津の街中でも毎月朝市が開かれています。車を運転しなくなった年配の方々で毎回盛況のようです。私自身、将来車を運転できなくなったとき、どの様に生活していくのかということを考える今日この頃です。

1 月のプログラム

- 932 回 18:30 ブケ東海 クラブ協議会  
1 月 20 日(木) (上期活動報告)
- 933 回 12:30 ブケ東海 IAC 指導者講習会報告  
1 月 27 日(木) 植松 正 IAC 委員長

2 月のプログラム

- 934 回 12:30 ブケ東海 クラブフォーラム  
2 月 03 日(木) (20 周年記念例会について)  
芹澤貞治実行委員長 理事会⑧
- 935 回 13:30 ホテルグランド富士  
2 月 06 日(日) 静岡第 3 分区 IM 会場・曜日変更

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告 (会員総数 21 名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
931回	21名	17名	-	80.95%
928回	22名	18名	0名	81.82%

●ビジター

1. 山本 章様：せせらぎ三島 RC

●欠席者 (3 名)

成田みちよ、杉山壽章、尾島康夫

会 長	久松 但	幹 事	重光 純
広報委員長	本村文一	編 集 者	尾島康夫

## ●スマイル報告

1. 芹澤貞治：年男の抱負の卓話です。誕生日のお祝いありがとうございます。
2. 栗原侑男：妻の誕生日のお祝いありがとうございます。
3. 名古屋良輔：久松会長、重光幹事、上期御苦労様でした。下期も宜しくお願いします。
4. 鈴木良則：新年、あけまして、おめでとうございます。所用につき、早退させていただきます。

## 幹事報告

### 1. 他クラブの例会変更等

#### ①裾野ロータリークラブ

1月21日(金) 例会場所変更 19:00~(新年会)

#### ②富士ロータリークラブ

2月09日(水) 特別休会

## 理事会報告

### 協議事項

- ①2月度プログラム 宮島賢次クラブ管理運営委員長提案のとおり承認する。
- ②沼津柿田川RCとの2クラブ合同例会について 予算・開催要領について提案のとおり承認する。
- ③杉山壽章君の件 平成23年3月末までの休会を承認する。

## 年男の抱負 芹澤 貞治君

### 芹澤貞治君



早いもので4回目の卯年を無事迎える事が出来ました。卯年は卯の穏やかな様子から”家内安全、跳躍する姿から”飛躍を表す、といわれます。卯年生れの特徴は「温厚で従順」だそうです。ロータリーでの年男の抱負を話をするのも今回で2回目になります。前回は仕事、そして趣味の話をさせてもらったと記憶しております。抱負と言うよりは願いとなりますが、今年は日本の景気が上昇します事、そして若者が夢を描ける国になる

事を願いたいと思います。

黒船来航から158年、戦後66年になります。あの頃のように日本人の気概が盛り上がり、10年・20年先に日本が再び世界のリーダーと成り得る様、そしてそんな指導者が出てくる事を望みたいと思います。

過去、沼津西RCに在籍していた同年令には、木村さん、坂部さん、木下さんの3人がいました。我々の年代は戦後の団塊の世代のすぐ後の生れであり団塊の世代ほどではないが、まだまだ人数が多い年代であり、小・中学校は1クラス50人は当たり前であり、今の様に30人・35人のゆとり教育など考えられないものでした。

同級生とは、友人とは良いものです。たまの同窓会では現在の身分は関係なく、当時にスーッと戻って、～チャン、～君、そしてアダナで呼び合えるものです。そんな友人達からの今年の年賀状では”とり合えずもう少しサラリーマン生活を続けられそうです。”とか、反対に”ずーっと日曜日になります。”などとなりましたが、1枚”結婚しました一緒に遊びに行くよ、”があり、思わず青春しているんだなと微笑みました。そんな連中の携帯電話の待受け画面は孫の写真が多い様です。(ちなみに女性は風景やペット)、今後はそんな友人達との交流が前にも増して活発になると思います。そして昔の事ををなつかしく、酒でも飲みながら話したいと思います。

鈴木良則さんのスポンサーでロータリーに入会してもう20年になります。その間、西クラブ又近隣のクラブの方との交流が続いております。皆様尊敬出来る人達であり、この様な出会いを与えてくれたロータリーに感謝すると共に自分自身も、もっと鍛えようと思っております。

私のスポンサーで入会した人達が続けて4代もクラブの代表として会長の任についてくれます。微力ではありますが恩返しができるれば幸いと思い、陰ながら応援したいと思っております。ロータリーでも伝えなければならぬものがありますが、仕事では”技術、”知恵、と”誇り、”を伝え、もう少し現役で頑張りたいと思っております。

そして5月29日の20周年記念例会に向け、皆様にはご支援、ご協力をお願いいたしますと共に本年会員皆様方のご多幸を祈念いたしまして、年男の抱負とさせていただきます。

## -----12月分出席一覧-----

藤原(1)	久松(3)	井上(3)	栗原(3)	宮島(3)	宮口(2)	本村(3)
名古屋(3)	成田(2)	大村(1)	尾島(3)	芹澤貞(2, 1)	芹澤和(3)	重光(3)
杉山真(3)+1	杉山壽(1)	鈴木博(3)+1	鈴木泰(3)	鈴木良(2)	土佐(2, 1)	植松(3)+1
渡辺(2)						
例会出席% 81.81 %				地区報告% 84.85 %		

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)+超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。



# 沼津西ロータリークラブ週報



地域を育み、大陸をつなぐ

2010～2011 年度  
第 20 巻 26 号  
2011 年 1 月 20 日

● クラブテーマ ●  
クラブ奉仕を通じて地域への貢献を

■■ 本日のプログラム ■■  
■ クラブ協議会（上期活動報告）

例会場：ブケ東海 例会日：毎週木曜日  
(18:30点鐘) 第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX 055-967-2152  
事務担当者●川口恵美  
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

## ◆◆第 932 例会 会長挨拶◆◆

久松 但 会長

先週の 9 日までの 1 週間に報告されたインフルエンザ患者数は、1 医療機関あたり 5.06 人と、前週の 2.30 人に比べて 2 倍以上に増加したと、国立感染症研究所が 14 日発表しました。検出されたウイルスは、昨年世界的に流行した新型が最も多く、8 割以上を占めているようです。

流行のピークは 2 月初めごろと予想されているようですが、厚生労働省によると、今季の感染者のほぼ半数を 20～40 代が占めているようです。

ところで、2009～2010 年にかけて全世界で大流行した新型インフルエンザですが、米国では約 12,000 人が死亡したとされるのに対し、日本では 200 人強にとどまっています。日本の人口 10 万人当たりの死亡率は、先進国の中で最も低く、その成果は各国から注目を集めています。

死亡者数を最少にとどめることができた最大の要因は、インフルエンザ治療薬を早期かつ適切に使用したことにあるそうです。

ご存じのように、日本では 10 年前からインフルエンザの診断キットと治療薬が普及しており、新型インフルエンザの流行時には、大半の患者が発症から 48 時間以内に治療を受けていたようです。予約なしで医療機関に行ける医療システムの存在や、患者のインフルエンザに対する関心の高さも、被害防止に大きく寄与したそうです。

なお、インフルエンザ治療薬「タミフル」に

ついては、19 日投与した患者のうち約 8% で耐性ウイルスが現れていることが、東京大医科学研究所などの調査で明らかになりました。このため、新たな治療薬も相次いで登場しています。従来からある「タミフル」に加え、1 回の投与で済む点滴薬や吸入薬などが処方されはじめています。インフルエンザにかからないよう、健康に留意していきたいものです。さて、本日は、上期活動報告のクラブ協議会となります。各委員長様よろしくお願ひします。

### 1 月のプログラム

933 回 12:30 ブケ東海 IAC 指導者講習会報告  
1 月 27 日(木) 植松 正 IAC 委員長

### 2 月のプログラム

934 回 12:30 ブケ東海 クラブフォーラム  
2 月 03 日(木) (20 周年記念例会について)  
芹澤貞治実行委員長 理事会⑧

935 回 13:30 ホテルグランド富士  
2 月 06 日(日) 静岡第 3 分区 IM 会場・曜日変更

936 回 18:30 ブケ東海 沼津柿田川 RC 合同例会  
2 月 17 日(木) クラブ管理運営委員会

### クラブ管理運営委員会報告

#### ★出席報告（会員総数 21 名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
932回	21名	13名	-	69.90%
930回	20名	13名	0名	65.00%

会長	久松 但	幹事	重光 純
広報委員長	本村文一	編集者	尾島康夫

## ●欠席者（8名）

本村文一、大村保二、杉山壽章、鈴木良則、渡邊亀一、宮口雅仁、成田みちよ、伊縫文哉

## ●スマイル報告

1. 植松 正：誕生日のお祝いありがとうございます。
2. 井上武雄：私用につき、早退させていただきます。

## 幹 事 報 告

### 1. 他クラブの例会変更等

- ①裾野ロータリークラブ  
1月21日（金） 新年会  
1月28日（金） 長泉RCとの合同例会

## ク ラ ブ 協 議 会

### 重光 純 幹事

平成23年1月20日にクラブ協議会が開催され、各委員会の本年度上期における活動についての報告及び協議がなされました。

クラブ管理運営委員会の宮島賢次委員長、クラブ広報委員会の尾島康夫副委員長、会員増強維持委員会の芹澤貞治委員、奉仕プロジェクト委員会の栗原侑男委員長、ロータリー財団委員会の鈴木泰次委員長、S・A・Aの芹澤貞治副委員長から、各委員会の上期の活動に関する報告がなされ、最後に植松正副会計より中間決算報告がなされました。

個人的な感想で恐縮ですが、いずれも本年の上期に行った活動の内容についての報告であるため、ほんの数ヶ月前の出来事なのですが、ずいぶん前の出来事のように感じられま

した。

各委員会の活動報告及び中間決算報告について、ただちに意見や感想が述べられることもなく、淡々と議事が進んでいましたが、クラブ管理運営委員会の宮島賢次委員長から、上期の親睦活動に関する感想を求める発言がなされると、それを契機として様々な意見及び感想やそれに対する補足説明が活発に交換されるようになりました。

その中でも、今後の加藤学園インターアクトクラブの活動に対する関わり方や会員増強など、従前より議論がなされている点について各会員から多くの発言があり、充実したクラブ協議会となりましたが、通常より出席率が低かったことが惜しまれました。

皆様、上期はお疲れ様でした。下期も引き続き宜しくお願い致します。



クラブ協議会の様子



# 沼津西ロータリークラブ週報



地域を育み、大陸をつなぐ

2010～2011 年度  
第 20 巻 27 号  
2011 年 1 月 27 日

● クラブテーマ ●  
クラブ奉仕を通じて地域への貢献を

■■ 本日のプログラム ■■  
IAC指導者講習会報告 植松 正 IAC委員長

例会場：ブケ東海 (18:30点鐘) 例会日：毎週木曜日 第三木曜日：18:30  
事務局●TEL&FAX 055-967-2152  
事務担当者●川口恵美  
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 933 例会 会長挨拶◆◆

久松 但 会長

26 日、政府が国会に提出した予算関連資料で、国債や借入金などを合計した国の借金が平成 23 年度末見込みで、過去最大の 997 兆 7,098 億円になることが明らかになりました。これを人口で割ると、国民 1 人当たり約 783 万円の借金を背負う計算となります。

しかし、日本の借金は、その 90%が国内で保有されている国債などで、対外的な借金は多くありません。因みに、対外債務が一番多い国はアメリカで 12 兆 2,500 億ドル (約 1,040 兆円)、2 位はイギリスで 10 兆 4,500 億ドル (約 890 兆円)、以下フランス、ドイツ、スペインと続き、日本は 9 位で 1 兆 4,920 億ドル (約 127 兆円) となっています。意外と少ないような気もしますが、一方で、国債発行額の GDP 比では、170%と世界 3 位となっています。因みに 1 位はジンバブエで 218%、2 位はレバノンで 187%となっており、いずれも政情が不安定な国となっています。

現状では、国の歳入も国債に大きく依存しており、毎年の利払いも国債から出しているというもとでは、国債が売れなくなったら日本は破綻しかねない状況です。このため、国も必死で国債を売ろうとしますが、低金利の日本の国債は海外では全く売れず、国債という名前に安心感を覚える国民が購入するという仕組みとなっています。つまり、国民からお金を借りて行政サービスを行い、

景気が良くなったら国民にお金を返すという状況です。しかし、借金で借金を返すという自転車操業状態では、利息分借金が増え続けるのは分かり切っていることですから、税収で借金を返すべく、いずれ消費税の増税は避けられないのかもしれないかもしれません。

2月のプログラム

- 934 回 12:30 ブケ東海 クラブフォーラム  
2月 03 日(木) (20 周年記念例会について) 理事会
- 935 回 13:30 ホテルグランド富士  
2月 06 日(日) 静岡第 3 分区 IM 会場・曜日変更
- 936 回 18:30 ブケ東海 沼津柿田川 RC 合同例会  
2月 17 日(木)
- 937 回 12:30 ブケ東海 外部卓話沼津商工会議所  
2月 24 日(木) 会頭 市川 厚様

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告 (会員総数 21 名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
933 回	21名	18名	-	85.71%
931 回	21名	17名	0名	80.95%

●欠席者 (3名)

尾島康夫、杉山壽章、伊縫文哉

●他クラブへの出席者

渡邊亀一 (12/13 沼津柿田川 RC)

会 長	久松 但	幹 事	重光 純
広報委員長	本村文一	編 集 者	尾島康夫

## ●スマイル報告

1. 成田みちよ：明けまして、おめでとうございます。本年も、宜しくお願い致します。所用につき、早退させていただきます。
2. 鈴木良則：インフルエンザが、流行っていますので、気をつけましょう。

## 幹事報告

### 1. 他クラブの例会変更等

#### ①吉原ロータリークラブ

2月03日(木)→06日(日) 静岡第3分区  
I M 於：ホテルグランド富士 点鐘13:30

#### ②富士宮ロータリークラブ

2月14日(月)→10日(木) 夜間例会富士宮  
青年会議所との合同例会

#### ③富士宮西ロータリークラブ

2月04日(金)→06日(日) 静岡第3分区  
I M に振替2月11日(金) 祝日休会

#### ④沼津北ロータリークラブ

2月08日(火)→06日(日) 静岡第3分区  
I m に振替

### 2. 連絡事項

- ①次週は理事会がありますので、理事の方はご出席下さいますようお願い致します。
- ②2月17日(木)の2クラブ合同例会の出欠席をご記入下さい。

## インターアクト指導者講習会 出席報告



インターアクト委員長 植松 正君

さる12月12日、浜松市にある静岡県西遠女子中学校・高等学校をホストとして行われました

2010～2011年度2620地区インターアクト指導者講習会について報告致します。

当日の参加者は、インターアクトクラブ(以下、IAC)が20校中15校から生徒85名と顧問教諭18名、ロータリークラブからは13クラブ19名、地区役員が10名、その他スポンサークラブである浜松RCの会員を加えまして130名以上にのぼりました。当クラブからは杉山真一君と私(植松)の2名、加藤学園IACからは生徒5名と松本教諭の計6名が参加致しました。

まず10時15分より始まった開会式では、中村地区新世代委員長の祝辞や参加IACやRCの紹介、ホスト校の岡本校長の挨拶等がありました。その他、2780地区(神奈川県)の原インターアクト委員長より、正式に当地区との合同国内研修会を2011年3月26～27日に厚木七沢自然ふれあいセンターで開催することが発表されました。

続いての講演会では、「異文化との共生」とのテーマのもと朝日新聞浜松支局の馬場記者より、現場取材を通じてのブラジル人をはじめとする外国人労働者との交流について話を拝聴いたしました。

その後の昼食時には、校内の食堂にて西遠女子高の生徒6名がアカペラを披露し、素敵なおもてなしが会場を和ませてくれました。

午後からは分科会として生徒を5グループに分け、各クラブの活動紹介やクラブの抱える問題点について討議がされ、後の全体会で各グループの代表者からその内容が発表されました。活動内容としては、募金活動、老人ホームへの慰問、ブラジル人学校との交流等、問題点としては共通するものが多く、新入生の確保、知名度のアップ、各部員の低い活動意識等が主なものとしてあげられていました。

最後に伊藤2620地区インターアクト委員長より講評をいただき閉会となりました。